

[特集](#)[理念・方針・会社概要](#)[マネジメント・CSR経営](#)[環境側面](#)[社会側面](#)[横浜ゴムCSRサイト TOP](#) > CSRウェブの編集方針

CSRウェブの編集方針

● 編集方針

冊子とウェブに分けて情報開示

各媒体の特性にあわせ、冊子とウェブを使い分けて情報を開示しています。

■ 冊子

CSR経営ビジョンに基づき、「社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業」になるための、考え方や活動内容を、従業員の日常の活動や座談会の様子を通じて紹介。分かりやすい編集を心掛けています。

■ ウェブ

情報の網羅性を重視して、GRIガイドラインを参考に作成。ステークホルダー別の報告となっています。

GRIガイドラインを用い自己検証

本レポートは、GRIの報告枠組みに基づいて作成しています。以下の適用レベルに照合した結果、本レポートのアプリケーション・レベルはBに相当します。



報告書適用レベル		C	C+	B	B+	A	A+
標準 開示	G 3プロフィールの 情報開示 OUTPUT	報告 1. 1 2. 1-2. 10 3. 1-3. 8, 3. 10-3. 12 4. 1-4. 4, 4. 14-4. 15	外部保証を受けた報告書	レベルCの要求項目に以下を加える 1. 2 3. 9, 3. 13 4. 5-4. 13, 4. 16-4. 17	外部保証を受けた報告書	レベルBと同様	外部保証を受けた報告書
	G 3マネジメント・ アプローチの開示 OUTPUT	要求項目なし		各カテゴリの指標に対するマネージメント・アプローチの開示		各カテゴリの指標に対するマネージメント・アプローチの開示	
	G 3と業種別 補足文書の パフォーマンス 指標 OUTPUT	パフォーマンス指標について少なくとも10の報告があること。そのうち、社会、経済、環境分野について少なくとも一つ報告があること		パフォーマンス指標について少なくとも20の報告があること。そのうち、経済、環境、人権、労働、社会、製品責任分野について少なくとも一つ報告があること		G 3の中核指標及び業種別補足文書※のパフォーマンス指標に対応していること。重要性の原則に考慮して、 a) 指標について報告、または b) 指標の報告の省略説明があること	

※ 最終版の業種別補足文書

情報の報告期間

2009年度（2009年4月～2010年3月）。大きな進捗があったものは2010年7月までの状況を記載しています。

報告範囲

横浜ゴムおよび国内外グループ会社

経済側面	横浜ゴムおよび連結対象子会社
環境側面	横浜ゴムの国内8生産事業所。その他、国内外のグループ会社についてその一部データを記載しています。
社会側面	横浜ゴムの本社、国内8生産事業所および国内外グループ会社の取り組みの一部を掲載しています。

※ヨコハマモールド（株）：設立に伴い、2009年7月からのデータを集計しています。
日本パワーブレーキ（株）：2009年10月に売却したため、2009年度のデータには含んでいません。

参考にしたガイドライン

- ・環境省「環境報告ガイドライン（2007年版）」
- ・GRI「サステナビリティレポーティングガイドライン2006」

*GRI=Global Reporting Initiative

CSRウェブの年度更新

年1回（毎年9月）

※前回 2009年9月
※次回 2011年9月

報告書の編集責任

CSR情報委員会

お問い合わせ先

広報部 03-5400-4531

CSR・環境推進室 0463-35-9512

見直しに関する注意事項

本報告書の記載内容には、現在の事実だけでなく、将来の予測、計画、目標などが含まれています。これらは現時点（2010年7月）で入手できた情報に基づく仮定ないし判断であり、不確実性が含まれています。実際のパフォーマンスは、横浜ゴムグループの事業活動だけでなく、世界経済の動向、地球環境の変化などに影響を受けるため、本報告書に記載した予測、計画、目標が実際とは異なる可能性があります。読者の皆さまには、このことをご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

[ページの最上部へ](#)